

出場おめでとうございます

全国・九州大会出場者激励会

4月21日、6月16日、7月3日、役場庁議室および町長室において、全国・九州大会出場者の激励会が行われ、藤本町長から出場選手へ激励費が手渡されました。
出場選手、大会などについては次のとおりです。

- 【大会名】第56回全九州高等学校レスリング競技大会
- 【出場選手名】玉名工業高校 錦戸 祐也くん(3年・中大野) 島田 琉くん(2年・中大野)



▲錦戸祐也君(左)、島田琉くん(右)

【大会名】

第37回西日本軟式野球大会

【出場チーム】

Surge 31.B.C

【出場選手名】

東雲 雄一さん(島地) 園田 将希さん(法道寺) 竹岡 秀晃さん(河原)

【大会名】

第24回全日本学生柔道優勝大会

【出場選手名】

岩瀬 礼さん(東上宮) (別府大学1年)

【大会名】

九州小学生4年生テニス選手権大会

【出場チーム】

八代ジュニア

【出場選手名】

梅田晴太郎くん(宮原小4年・楯) 梅田菜々花さん(宮原小4年・楯)



▲左から、梅田晴太郎くん、梅田菜々花さん

【大会名】

第60回全九州バレーボール総合選手権大会

【出場チーム】

藤球会

【出場選手名】

岩村 正剛さん(東網道) 古閑 貴久さん(中大野)

【大会名】

第68回全九州高等学校ラグビーフットボール競技大会

【出場選手名】

九州学院高校 山本 秀磨くん(3年・西上宮) 松岡 紘平くん(2年・原田) 高田宗一郎くん(2年・下宮)

【大会名】

第35回全国ハンドボール選手権大会西地区大会

【出場チーム】

うらスポーツクラブ

【出場選手名】

山本 はるかさん(立神)



▲山本はるかさん

【大会名】

第33回九州少年柔道大会

【出場チーム】

竜北少年柔道クラブ

【出場選手名】

松岡 光琉くん (竜北東小1年・高塚)



▲松岡光琉くん

【大会名】

第21回全九州高等学校アーチェリー競技大会

【出場選手名】

八代清流高校

【出場選手名】

山田くるみさん(3年・島地) 穀田 沙予さん(2年・法道寺) 上村 文翔くん(2年・新村南)



▲左から山田くるみさん、穀田沙予さん、上村文翔くん

海外に飛び立ち活躍

JICA海外ボランティアからの活動報告

昨年6月から青年海外協力隊として派遣されている、氷川町出身の松浦伸哉さん(西網道)から活動報告が届きました。



松浦 伸哉さん(西網道)

サモアで小学校の理科と算数の教育向上を支援

サモアの小中高等学校では理科・算数の理解度不足が共通問題とされています。また、基礎計算を十分に理解しないまま小学校を卒業する生徒が多く、その過程を経た教師の指導力不足も問題となっています。松浦さんは、現地の担任教師と共に授業を行い、教師に効果的な教授法を助言することで、現地教師の理数科能力改善と生徒の学力向上を支援します。



サモア独立国

サバイイ島

ウポル島

オーストラリア

サモア独立国

南太平洋の島国でウポル島とサバイイ島という2つの大きな島などで構成されています。世界で最も早く日付が変わる国の一つです。

公用語：サモア語、英語

首都：アピア

面積：2,944km²(東京都の約1.3倍)

人口：179,000人(2008年統計)



▲授業の様子

着任後の1年間を振り返って

南太平洋に浮かぶ常夏の島「サモア」に派遣されて、1年以上が経ちました。サバイイ島にあるサレラバル村の小学校で、理科と算数の指導を行っています。

サモアの教育課題は、理科・算数の基礎学力が身に付いていないことです。この原因の一つとして、子どもたちに解答や知識を与えるだけの詰め込み型の指導方法が一般的であることが考えられます。教員は解答しかチェックをしないことが多く、答えに至るまでの過程は軽視されがちです。

そのため、自分の頭で考えて、答えを見つけることよりも、答えを写して終わらせる子どもが非常に多いです。

この現状をどうにか打破しよう、他の学校で活動している小学校隊員と協力して、サモアの先生たちを対象にした研究授業に今年度から取り組み始めました。

詰め込み型の指導方法ではなく、子どもたちが自分で考えて、自分なりの答えが見つけれられるような授業を紹介し、先生たちの授業力向上への一助になればと考えています。

そのほかの活動として、配属先の小学校で授業参観を行いましたと考えています。

サモアの小学校では、授業参観が行われている学校は少なく、そもそも保護者が学校に訪れる機会も少ないです。

学校や子どもたちの学校での様子を知らない保護者が多いため、子どもたちの勉強に対する関心が低いのが現状です。授業参観を通して、地域の人々と学校をつなぎ、村人の教育に対する関心を集められたらと考えています。

サモアの教育を理解していくにつれて、日本の学校教育の良さ、そして学校で働く先生の努力や教育に対する責任感はずいぶん思いました。この部分、サモアの先生と日本の先生との大きな違いかも知れません。先生たちの遅刻・欠席が



▲大きな心と体を持つ先生たちと一緒に

頻繁にあつたり、授業中にも関わらず、他の先生とおしゃべりをするために授業が無くなったりなど、先生たちの教師としての責任感が問われるようなことが多々あります。

子どもたちや授業のことについて先生たちと話したり、自分と子どもたちの関わり方や授業を見てもらったりすることによって、少しでも教師という職業に対する責任感をより強く持つてもらえたらと考えています。

すぐには目に見える変化はないかも知れませんが、焦らずに、時には立ち止まって振り返りながら、できることから一つずつやっていきたいです。

そして、先生たちや子どもたち、そしていつもお世話になっている村人たちと一緒に、サモアのゆつたりとした時間の流れを楽しんでいきたいです。